

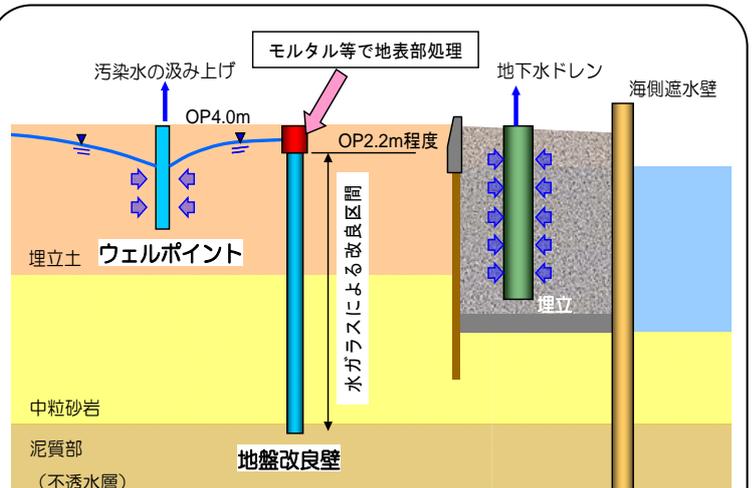
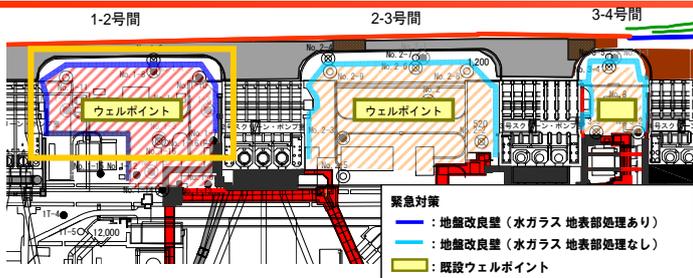
地盤改良壁の地表処理について

平成26年12月25日

東京電力株式会社



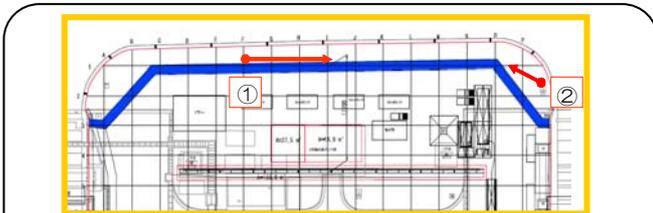
地盤改良壁の地表処理



2-3号機間、3-4号機間では、地盤改良壁の天端がOP2.2m程度。地下水の越流を防止するため、1-2号機間と同様に地表部の処理を実施する。

2-3号機間の施工（掘削）にあたっては、当該箇所の地下水水位を低下させる必要がある。そのため、10月末より1-2号機間の地下水くみ上げ量を抑制し、2-3号機間の汲み上げ量を増加させることで地下水水位を低下させている。

3-4号機間については、2-3号機間の施工（地盤改良壁の地表部処理、ウェルポイント改修工事）に引き続き、年度末までを目途に実施する予定。



①モルタル置換完了

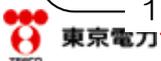


②モルタル置換施工

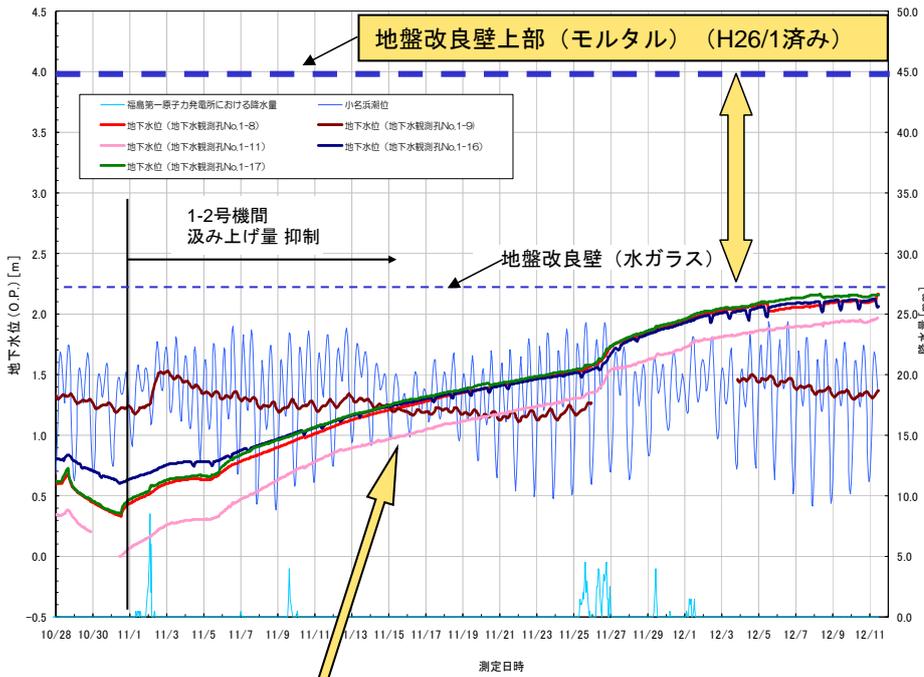
1-2号間改良体天端から地表面までのモルタル置換作業はH26/1に完了。

1-2号間 地盤改良壁の施工状況

地盤改良壁の地表処理



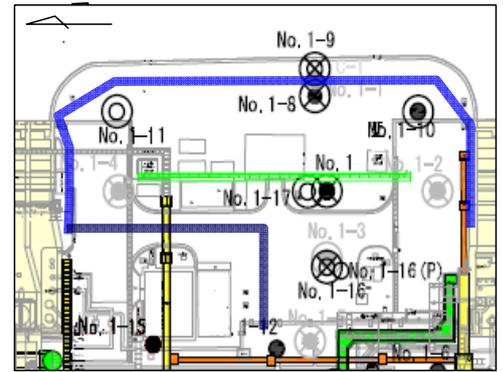
1,2号機間 地下水位の状況



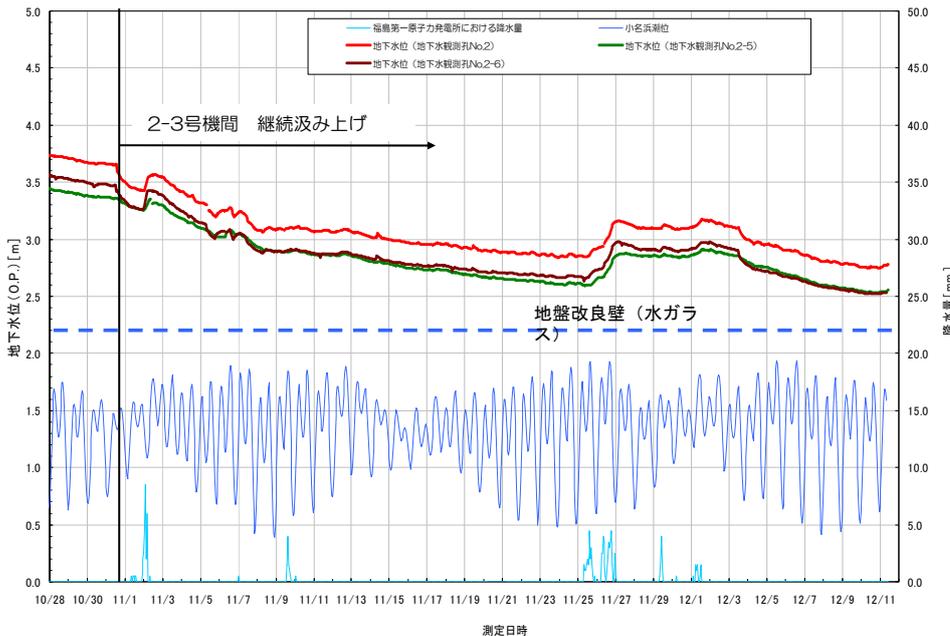
11/15前後に観測孔1-8と1-9の水位が逆転している。しかし、1, 2号機間は、OP4.0mまでの地表部処理を実施済み。

- これまで、1-2号機間では、水ガラス地盤改良壁の天端を地下水位の目安としてみ上げを実施していた。しかし、1-2号機間では地表部処理も完了していることから、2-3号機間の地表部処理等に向けて連続くみ上げを開始した際、1-2号機間の汲み上げ方も変更している。

- 10/31以降、ポンプの圧力調整を行い、11/6以降には南北に長い形状をしている1-2号間ウェルポイントのくみ上げ位置のうち、中央部を除き、南側と北側からくみ上げる形に変更してい



2,3号機間 地下水位の状況



10月末以降、2-3号機間のウェルポイント・地盤改良壁地表部工事にむけて、24時間連続汲み上げとして地下水位を低下させている。

- 2-3号機間は、1-2号機間に比べ汚染レベルが低いため、地下水の汚染レベルの高い北側エリアのウェルポイントのみくみ上げを実施してきた。

- 10月末以降、2-3号機間ウェルポイント・地盤改良壁地表部工事にむけて、北側以外にくみ上げの範囲、量を拡げ、水位を低下させている。

